



第 100 期
中間報告書

2024.3.1 ▶ 2024.8.31

イオン株式会社

証券コード：8267

The background of the right half of the page is a photograph of a dense forest. The trees are tall and thin, with thick, moss-covered trunks. The ground is covered in a thick layer of green moss, and there are several large, mossy rocks scattered throughout. The lighting is soft and diffused, creating a serene and natural atmosphere.

イオン株式上場50周年

より多くの皆さまと、豊かな未来を目指して



トップメッセージ



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1974年に東京・大阪・名古屋の3つの証券取引所に同時上場してから、今年で50周年を迎えることができました。これも、ひとえに皆さまのご支援とご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

創業以来、私たちは基本理念をすべての事業活動の指針としております。この50年間に於いても、経済情勢の変動、技術革新、ライフスタイルの多様化など、多くの変化がありました。私たちはその時々の課題に直面しながらも、基本理念のもと、「お客さま第一」の実現を目指して、地域社会と共に成長してまいりました。

現在は、グループ中期経営計画（2021～2025年度）として、「デジタル」「商品」「健康」「地域」「アジア」「環境・グリーン」の成長戦略のもと、「イオンの地域での成長」が

「地域の豊かさ」に結び付く、循環型かつ持続可能な経営の実現を目指しています。

足もとでは、家計における可処分所得が増加し、メディアでは「個人消費の回復が進んでいる」という論調が増えています。現場におけるお客さまの購買行動からは、日々の買い物において節約を意識されている姿が見取れます。食品を中心とする消費者物価指数の高止まりやエネルギーコストの上昇が家計を圧迫しているものと思います。私たちは、業界の一方的な都合で値上げを行うのではなく、常にお客さま目線で考え、生活応援に注力していきたいと考えています。そのために、「トップバリュ」を引き続き強化いたします。「トップバリュ」は、イオンが主体となって、物流の効率化やベストソースからの原料調達、一括仕入れ等、サプライチェーン全体の改革によってコスト削減を実現させることができます。品質とお値打ちさを両立させた商品を提供し、お客さまの暮らしを支えてまいります。

また、今年、イオンが初めての海外進出となるマレーシアでの事業を開始して40年の節目を迎えました。特にアセアン諸国はコロナで停滞していたGDPが堅調に推移しはじめ、今後も人口ボーナスによる成長の継続が見込まれる市場です。次の成長に向けて、今後の世界経済の成長をけん引していくアセアンへの展開を加速させ、シェア拡大を図ってまいります。

今後も、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」という基本理念のもと、次の50年に向けて、挑戦と変革を続けてまいります。持続可能な社会の実現に向けた取り組みを一層強化し、地域の皆様と共に成長していくことを目指します。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き私たちに対するご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

取締役 代表執行役社長 **吉田昭夫**

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、

その使命を果たす企業集団として永続するために、

お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

全文はこちら <https://www.aeon.info/company/concept/>



イオングループ未来ビジョン

ビジョンステートメント

一人ひとりの笑顔が咲く 未来の暮らしを創造する

イオングループが実現したい未来

お客さまが「明るくなっていく社会」と「自分らしい幸せ」を実感できることで、「心豊かに暮らし、笑顔が広がる」未来

イオングループのありたい姿

くらしの共創をリードし一人ひとりも社会全体もより豊かにするグループ

大切にする姿勢と誓い

～3つの姿勢～
「想いをもとに、自発的に行動する」
「学び続け、新たな価値を創造する」
「つながりを築き、育み、共創する」

～1つの誓い～
「真摯、誠実であり続ける」

イオングループ未来ビジョン デジタルブックレット

<https://www.aeon.info/vision/jp/>



「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指す

1974年9月10日イオン株式会社（当時・ジャスコ株式会社）は、東京・大阪・名古屋の3証券取引所に上場しました。

上場申請時のイオンは、関西・中部圏に100店舗を展開しており、本来なら大阪市場・名古屋市場へ上場し、その後東京市場へ上場するという考えもありました。しかし、イオンは小売業の近代化とナショナルチェーン

による国民の消費生活の向上を目指し、株式取引で全国の9割近くを占めた東京市場へ上場しました。

株式上場により、長期的に安定した資金調達が可能となったことで、新規出店・事業の多角化といった成長戦略が加速していきました。株式上場から50年。株主の皆さまのご支援のもと、日本・中国・アセアンを中心に1万7,887店舗、連結子会社309社、営業収益9.5兆円を超えるグループ企業へ成長しました。

1974年

東京・大阪・名古屋の3市場へ同時上場



1980年代

生活水準の高度化のなか小売業を中心とした多角化経営を国内外で推進

- 1980年 ミニストップ(株)を設立
- 1981年 日本クレジットサービス(株) (現イオンフィナンシャルサービス(株)) を設立
- 1985年 マレーシアに海外1号店を開店
- 1989年 ジャスコグループからイオングループへ改称



1990年代

日本経済の低迷や少子高齢化の進行のもと、業態構造の再構築を実施

- 1994年 PBブランド「トップバリュ」（現トップバリュ）発売
- マックスバリュ（現マックスバリュ）1号店を開店
- 1995年 ドラックス(株)を設立
- 1997年 (株)イオンファンタジーを設立
- 1999年 イオンシネマズ(株) (現イオンエンターテイメント(株)) を設立



2000年代

ジャスコからイオンへM&Aによる成長

- 2001年 ジャスコ(株)からイオン(株)へ社名変更。イオン(株)が(株)マイカルの支援を開始。調剤・ドラッグ連合「イオン・ウエルシア・ストアーズ」発足
- 2003年 イオン(株)が委員会等設置会社へ移行(現指名委員会等設置会社)
- 2007年 イオン(株)が(株)ダイエーの支援を開始。電子マネー「WAON」誕生
- (株)イオン銀行開業
- 2008年 イオン(株)が純粋持株会社体制へ移行



2010年代

消費環境の多様化への対応や成長するアジア市場への事業展開を強化

- 2011年 中国本社・アセアン本社を設立。まいばすけっと(株)を設立
- 2013年 中国でマックスバリュ1号店を開店
- 2014年 ベトナム1号店を開店。カンボジア1号店を開店
- 2015年 インドネシア1号店を開店。ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)を設立
- 2016年 ミャンマー1号店を開店



2020年代

5つの変革とグリーン戦略を推進

成長戦略

2025年までに達成する「5つの変革」(経営マテリアリティ)

- 1 デジタルシフトの加速と進化
- 2 サプライチェーン発想での独自価値の創造
- 3 新たな時代に対応したヘルス&ウエルネスの進化
- 4 イオン生活圏の創造
- 5 アジアシフトのさらなる加速



グリーン戦略の推進

- 2021年 イオンのグループトータルアプリ「iAEON」始動
- 2023年 イオンのネット専用スーパー「Green Beans」始動



当社株主数の推移

イオンの基本理念・経営方針をご支持いただくことで、個人株主数が着実に増加し、現在、国内上場企業の最大規模の株主数となっております。株主には、営業収益に影響のあるイオンのお客さまも多数含まれております。



株式会社上場50周年記念 プログラム

イオン株式会社上場50周年を記念し、株主の皆さまにイオンの取り組みへの理解を深め、大切にしている考え方や価値観をご体感していただくため「参加体験プログラム」をご案内し、多数の株主さまにご応募いただきました。7月以降ツアーを順次開催しています。

● イオン直営農場体験ツアー

イオンのお店に並ぶ野菜の中には、イオン直営農場で生産された「イオン農場」のマークがついている野菜があります。

なぜイオンが直営農場を運営しているのか、その想いや活動についてご理解いただき、大切な食の原点である土や野菜に触れながら、地域とともに未来を創造する喜びを体感いただくツアーを実施しています。



● イオン直営タスマニア牧場見学ツアー

牛を育てるうえで理想の土地であるオーストラリアタスマニア島は、手つかずの大自然に溢れ、生態系豊かな場所として知られています。

イオンは1974年からタスマニアビーフの肥育を始め、おいさと安全にこだわった肥育、持続可能な取り組みを続けています。イオン直営牧場を訪れ、おいしさの理由を体感いただくツアーを実施します。



● イオンの植樹・育樹活動

イオンはこれまで、自然災害や伐採などで失われた森林・防災林の再生、生物多様性の保全や気候変動の課題解決などを目的し、植樹を行ってきました。植樹を通して、自然との共生や地球環境問題について考えていただくツアーを実施しています。



イオンの基本理念を具現化する公益財団法人

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

1990年に設立され、「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、お客さまにイオングループをご利用いただき生まれた利益の1%相当額をもとに、「子どもたちの健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域の発展への貢献」「災害復興支援」を主な活動領域としています。

2023年に、「チアーズ農園」を開園し、子どもたちが種まきから収穫まで体験することで、体系的に農業について学べる場を提供しています。



小中学生を対象とした体験学習を行う「イオンチアーズクラブ」

<https://aeon1p.or.jp/1p/>



海外での植樹

<https://www.aeon.info/ef/>



公益財団法人 イオン環境財団

日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動を推進しています。

当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

公益財団法人 岡田文化財団

1979年三重県における芸術・文化の発展と振興を目的に設立、今年で45周年を迎えます。県内の芸術・文化活動の育成・援助、文化財の保全・修理等の「公募助成事業」では、2023年までに2,678件の団体・個人へ助成金を贈呈しました。新たに2023年3月からは、地域の新しい名所づくり「さくらプロジェクト」をスタートし、2026年3月までに5千本のさくらの苗木を植えることを計画しています。なお、2024年8月、財団設立から45年間理事長を務めた岡田卓也が退任し、岡田元也が理事長に就任しました。



こども歌舞伎発表会

<https://okadabunka.or.jp/>





グループトピックス

プライベートブランド50周年

イオンのプライベートブランドは2024年で発売から50周年を迎えました。当時から変わらないこと、それは「お客さま視点」の商品づくりです。「お客さまの声を商品に生かす」「安全と環境に配慮した安心な商品をお届けする」「必要な情報をわかりやすく表示する」「お買得価格でご提供する」「お客さまの満足をお約束する」を5つのこだわりとして歩み続けてきました。

次の50年に向けて「もっとワクワクする“次世代のプライベートブランド”」をテーマに掲げ、トレンドの発信源として消費に影響を与えるM・Z世代に特化した話題性、目新しさを兼ね揃えたモバイル菓子「トキメクおやつ部シリーズ」を発売しました。さらに、トップバリュは「もったいないをおいしく！」をテーマに、トップバリュだからこそできるサプライチェーンの視点から、社会課題でもある食品廃棄物削減に向けた取り組みも推進しています。



またイオンは安全・安心でおいしいお肉をお届けしたいとの思いからオーストラリアのタスマニア島で「タスマニアビーフ」の肥育を始めてから、おかげさまで50周年を迎えました。

牧場設立当初から安全性とおいしさにこだわり続け、①成長ホルモン剤を使わない ②抗生物質を使わない ③遺伝子組み換え飼料は使わない ④肉骨粉を飼料として与えないことを徹底し、2001年にBSE(狂牛病)が発生し輸入牛肉に対する安全性が問われた時にも、安全・安心なタスマニアビーフをお届け続けました。

次の50年もタスマニアの大自然の中で育まれたおいしさをお客さまにお届けしていきます。

株式会社ツルハホールディングス、イオン株式会社およびウエルシアホールディングス株式会社との資本業務提携契約を締結

各社の持つ経営資源を最大限に活用し、連携することにより、調剤、PB商品開発、物流、店舗開発、決済・ポイントを始めとする様々な分野でシナジーを発揮して、日本最大のドラッグストア連合体の構築を図るため資本業務提携契約を締結し、経営統合に向けた協議を進めております。

競争力の獲得、アジアNo.1のグローバル企業への成長のための経営基盤強化の実現を目指すとともに、そこで働く従業員の限らない成長機会を創出することを目指します。

ベトナム中部エリアに「イオンモール フェ」オープン。「イオンモール ダナンタンケー」出店決定

ベトナム中部エリア1号店となる「イオンモール フェ」をグランドオープン。ベトナムの古都であるフェ市は、観光業を中心に、経済成長を続けています。地域に暮らす方は、昔からフェ市に住んでいる三世代と一緒に住んでいる家庭や、ニューファミリーと呼ばれる30代夫婦も増えています。国内外から観光を目的とした方が多く訪れており、今後ますます発展することが期待できるエリアです。また、ダナン市に「イオンモール ダナンタンケー」の出店を決定。ダナン国際空港からも車で約5分に位置することから、地域のお客さまに加え観光客の集客も期待できる立地環境です。



北陸エリア初となる「そよら福井開発」オープン

「イオンスタイル福井開発」を核店舗としたショッピングセンター「そよら」としての出店は北陸地域では初めてとなり、普段のお買物も用事もワンストップで済ませることができる、地域の皆さまにとって最も便利な生活拠点を目指します。唯一「イオン」がなかった福井県への出店で、全国の47都道府県全てのお客さまにイオンをご利用いただけることになりました。



新概念の総菜プロセスセンター「クラフトデリカ船橋」稼働

「家で本格レストランのおいしさを楽しみたい」というニーズに応えるべく、本格レストランで提供される品質を実現しながら効率的に商品を製造・販売できる次世代の総菜プロセスセンター「クラフトデリカ船橋」(千葉県船橋市)を稼働。延べ床面積は2万1,868㎡で、通常のプロセスセンターの3~4倍の供給能力を持ち、温総菜、寿司、チルド総菜、弁当の半加工品および完成品、ソースの製造や原料加工を行い、関東エリアの合計約1,500店舗に供給します。

「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」により4,715万8,744円を贈呈

2024年4月8日~5月12日に全国のイオンの店舗および事業所6,791カ所で開催した「イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」でお客さまからお寄せいただいた募金は総額2,357万9,372円でした。公益財団法人イオンワンパーセントクラブから同額を拠出し、総額4,715万8,744円を公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈しました。同募金および寄付金は、カンボジアとミャンマーにおいて安全な水の供給や給水施設の敷設に活用されます。皆さまのご協力ありがとうございました。



7月22日カンボジアの「イオンモールセンソックシティ」での贈呈式



株主優待のご案内

AEON OWNER'S CARD

イオン オーナーズカード



持株数とご返金率



毎日のお買物がオトク！3・4・5・7%の還元

オーナーズカードをご提示いただき、現金、WAON(イオンの電子マネー)、イオンマークのカードによるクレジット払い、イオン商品券、イオンギフトカードでご精算いただくと、対象となるお支払金額合計に対し、ご所有株式数に応じた返金率をかけた金額を半期毎にまとめて還元します。

- *半年で家族カードご利用分と合わせ最高100万円までのお買物が還元対象になります。
- *ご利用の際は、必ずお支払いの前にオーナーズカードをご提示ください。
- *金券、ギフト券、イオンマークのカード以外のクレジット払いやWAONPOINT払い、その他各種ポイントでのお支払は還元の対象になりません。

あらたな株主優待紹介 オーナーズカードのご優待の特典が新たに加わりました

パラミタミュージアム

三重県の芸術文化振興に寄与することを目的とし公益財団法人岡田文化財団が運営する施設です。多彩なコレクション群と魅力あふれる企画展を両輪に、展覧会を開催しています。2024年4月よりオーナーズカードご提示で入館料金がお得になるサービスを開始しました。



場所：三重県三重郡菟野町 開館時間：9:30~17:30
 入館料金：オーナーズカードのご提示で50%割引となり、下記料金でご入館いただけます。
 (一般) 500円、(大学生) 400円、(高校生) 250円、(中学生以下) 無料
 ※株主ご本人さまと同伴者2名まで、上記料金でご利用いただけます。

詳しくはこちら▶

<https://paramitamuseum.com/>



イオンモバイル

お客さまがお得に快適にスマートフォンをご利用いただけるよう、お客さまの声に耳を傾け、様々な独自サービスを提供している格安通信サービスで、ご利用状況に合わせて選べる業界最安級料金プランが特徴です。2024年4月よりオーナーズカード特典として、基本料金、オプション料金が5%割引になる優待サービスを開始しました。

- 特典適用にはご契約時のお手続き、もしくはお近くのイオンモバイルショップかマイページから会員さまご自身による事前登録が必要になります。

株式会社ビッグ・エー

2024年10月よりディスカウントストアを運営するビッグ・エーでオーナーズカード特典の提供を開始しました。

- お買物の際に、オーナーズカードをご提示いただき、現金またはWAON(イオンの電子マネー)、イオンマークのカードでのクレジット払いでお支払いください。半期に一度保有株式数に応じて3・4・5・7%還元の特典をお受けいただけます。



財務データ

当中間連結会計期間の連結業績は、営業収益4兆9,994億35百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益986億円(前年同期より190億22百万円の減益)、経常利益898億19百万円(前年同期より220億87百万円の減益)と、営業収益が過去最高を更新しました。

世界的な政情不安や戦乱、中国経済の成長鈍化等、先行きへの不透明感が継続しました。8月以降の政府による光熱費の緊急支援策は消費動向には好影響を与えうるものの、日常生活における節約志向と高付加価値商品・サービスへの積極的な支出への個人消費の二極化傾向には変化がないなか、営業収益については全ての報告セグメントが増収となりました。営業利益については、高利回りな営業債権残高の増加により資本収益性が向上した総合金融事業、増床やリニューアル効果で賃料収入が増加したディベロッパー事業、サービス・専門店事業が増益となりましたが、その他の事業は減益となりました。

連結要約損益計算書(単位:億円)

科目	前中間期 2023.3.1~ 2023.8.31	当中間期 2024.3.1~ 2024.8.31
営業収益	47,113	49,994
営業利益	1,176	986
経常利益	1,119	898
親会社株主に帰属する 中間純利益	233	54

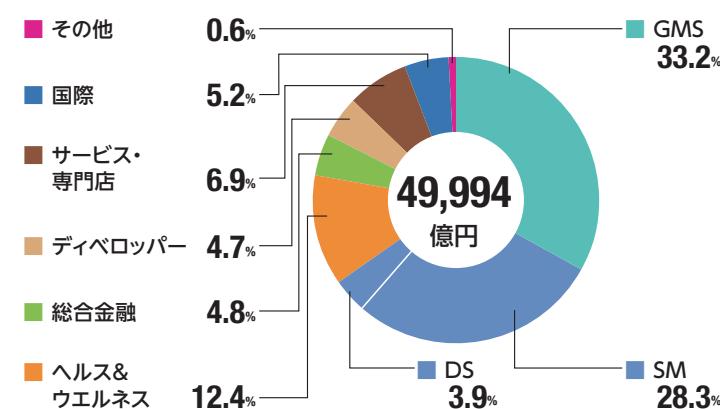
事業のセグメント情報(2024.3.1~2024.8.31)(単位:億円)

	営業収益	営業利益
GMS事業	17,552	△82
SM事業	14,998	103
DS事業	2,041	39
ヘルス&ウエルネス事業	6,574	184
総合金融事業	2,552	274
ディベロッパー事業	2,467	273
サービス・専門店事業	3,668	141
国際事業	2,738	49
その他事業	326	△42
調整額	△2,926	42
連結損益計算書計上額	49,994	986

連結要約貸借対照表(単位:億円)

	前期末 (2024年2月末)	当中間期 (2024年8月末)
資産合計	129,408	137,987
(流動資産)	80,449	87,147
(固定資産)	48,959	50,840
負債合計	108,536	116,936
純資産合計	20,872	21,050
(株主資本)	9,133	9,054

事業別営業収益 構成比率



※グラフは連結調整前の単純合算数値をベースとして作成しています。

詳しい決算概況については、下記URLまたは右記QRコードより当社サイトをご覧ください。
<https://www.aeon.info/ir/>





財務データ

GMS (総合スーパー) 事業

イオンリテール株式会社は、「荒利益額の最大化」「ショッピングセンター収益改善」「デジタル売上拡大」を実行しながら、様々なコスト上昇に耐えうる経営基盤を構築すべくデジタルを活用した生産性改善と、店舗・本社の経費削減の両輪で「収益構造改革」を推進しています。荒利益率を目標とした改革を進める衣料では、売場環境、品揃え、接客を含めた働き方を改革する「専門店モデル」の導入を進めました。イオン北海道株式会社では、「北海道のヘルス&ウェルネスを支える企業」の実現に向けて、「独自商品の強化」「新オペレーションへの移行と定着」を最重点施策として取り組みました。イオン九州株式会社では、日常消費に対する節約志向の高まりへの対応として「しあわせプラス(応援価格)」をはじめとした値ごろ感重視の施策に注力し、デジタルを活用した販促ではiAEONのクーポン企画等で需要喚起に努めました。



SM (スーパーマーケット) 事業・DS (ディスカウントストア) 事業

マックスバリュ東海株式会社では、時間帯に応じた品揃えや鮮度・出来たて商品の訴求に注力し、デリカ商品や冷凍食品の品揃え拡大に取り組みました。株式会社フジは、従業員一人ひとりの自律的な行動の実践を推進し、強い店頭づくりとマネジメント力の向上等、現場の実行力を高める取り組みに注力しました。また、サプライチェーンの統合と整備を進めており、自社プロセスセンターでの商品の仕様統一やエリア単位での商品供給体制の再構築を進めました。まいばすけっと株式会社は、中間期に72店舗を出店しました。今後も横浜、川崎、東京23区を中心に、首都圏における事業基盤を強化していく計画です。株式会社ビッグ・エーは、プライベートブランドの売上比率を高め、店舗活性化で品揃えと店舗ゾーニングの見直しに取り組みました。第2四半期以降、アコレ店舗を活性化し、「ビッグ・エー」への屋号統一を進めています。



ヘルス&ウェルネス事業

ウエルシアホールディングス株式会社および同社連結子会社では、健康を支える企業としてたばこ販売を順次終了する一方で、人的資本の充実のための賃上げ、オリジナルPB「からだWelcia」「くらしWelcia」の開発および拡販を進めました。また、同社のポイント会員であるウエルシアメンバーがWAON POINTサービスとの連動により1,279万人まで増加しました。調剤併設店舗数の増加により処方箋受付枚数が増加し、物販および調剤合計の既存店売上高前年同期比は堅調に推移しました。



総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス株式会社は、国内外においてお客様の決済および資金ニーズの変化に対応した商品・サービスの提供により、各種取扱高および営業債権残高の拡大を図りました。また、さらなる生産性の向上に向け、与信精緻化や債権回収体制の強化に加え、経費コントロールを徹底するとともに、シームレスな顧客体験の創出に向けた各商品・サービスを横断的に提供できるタッチポイントの転換に取り組みました。



ディベロッパー事業

イオンモール株式会社では、既存モールの積極的な活性化に加えて、猛暑に対するクールシェアスポットとしての集客施策の実施や、円安を背景として増加傾向にあるインバウンド消費の拡大等の効果で収益力が回復しました。また、インバウンド消費に加え、国内のお客様さまには「安・近・短」のレジャー需要に対応したことで、来店客数が好調に推移しました。



サービス・専門店事業

イオンディライト株式会社は、顧客内シェア拡大や新規受託物件の増加に加え、前年度より注力するお客様さまとの交渉を通じた単価見直しが奏功して増収増益となりました。株式会社イオンファンタジーは、新業態大型店や戦略的小型店の出店を進めている国内およびアセアン事業が好調に推移し、営業収益、営業利益が過去最高を更新しました。株式会社コックスは、著名タレントとの雑誌タイアップ企画をメンズ商品にも拡大し、ブランド発信強化・売上拡大策を推進しました。



国際事業

マレーシアでは、PBや自社で輸入調達した商品を拡販の中心に据え、既存店の大型改装や生鮮・デリカの拡充で収益拡大に取り組みました。ベトナムでは、既存店、新店ともに増収し、特に当中間期では、PBやデリカ等で他社との差別化を進めた食品の売上が2桁増加しました。中国においては、不動産不況と消費鈍化が社会消費財小売総額を下押しするなかでも、湖北エリアでは、武漢江夏が好調を維持しています。6月には中国浙江省杭州市、9月には同湖南省長沙市で新店を開業しました。



2024年度 中間期の配当について

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、2025年2月期の剰余金の年間配当において、1株当たり中間配当2円、期末配当2円の合計4円の記念配当を実施させていただく予定です。これにより、2025年2月期の剰余金の年間配当は、1株当たり中間配当20円(普通配当18円+記念配当2円)、期末配当20円(普通配当18円+記念配当2円)の年間40円(普通配当36円+記念配当4円)となる予定です。





会社情報/株式情報

会社概要 (2024年8月31日現在)

社名	イオン株式会社 (AEON CO., LTD.)
設立	1926年9月
事業内容	小売、ディベロッパー、金融、サービスおよびそれに関連する事業を営む会社の株式または持分を保有することによる当該会社の事業活動の管理
資本金	2,200億7百万円
本社	〒261-8515 千葉県美浜区中瀬一丁目5番地1

取締役 (2024年8月31日現在)

取締役	岡田 元也 (取締役会議長 指名委員 報酬委員)
取締役	吉田 昭夫
取締役	羽生 有希
取締役	土谷 美津子
社外取締役	塚本 隆史 (指名委員会議長 報酬委員会議長 監査委員)
社外取締役	ピーター チャイルド (指名委員 報酬委員)
社外取締役	キャリアー ユー (監査委員)
社外取締役	林 眞琴 (監査委員会議長)
社外取締役	リシャール コラス (監査委員)

執行役 (2024年8月31日現在)

代表執行役会長	岡田 元也
代表執行役社長	吉田 昭夫
執行役副社長	羽生 有希 デジタル担当
執行役副社長	土谷 美津子 商品担当
執行役副社長	渡邊 廣之 人事・生活圏推進担当 兼 リスクマネジメント管掌
執行役	井出 武美 GMS担当
執行役	神尾 啓治 SM担当
執行役	大池 学 DS担当
執行役	四方 基之 戦略担当
執行役	尾島 司 事業推進・ブランディング担当
執行役	江川 敬明 財務・経営管理担当
執行役	手塚 大輔 物流担当
執行役	後藤 俊哉 中国担当
執行役	古澤 康之 ベトナム担当
執行役	岡田 尚也 マレーシア担当

株式の状況 (2024年8月31日現在)

発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式総数(自己株式を含む)*	871,924,572株
単元株式数	100株
総株主数	946,765名

*自己株式は、14,785,887株です。

大株主 (上位10名) (2024年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	113,366千株	13.23%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	38,256千株	4.46%
株式会社みずほ銀行	33,292千株	3.88%
公益財団法人岡田文化財団	22,002千株	2.57%
公益財団法人イオン環境財団	21,811千株	2.54%
農林中央金庫	18,133千株	2.12%
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	12,685千株	1.48%
イオン社員持株会	11,900千株	1.39%
イオン共栄会(野村証券口)	11,643千株	1.36%
東京海上日動火災保険株式会社	10,061千株	1.17%

注：持株比率は、自己株式(14,785,887株)を除外して計算しています。

株主メモ

決算期	2月末日
基準日	期末配当、定時株主総会 2月末日 中間配当 8月末日 (その他必要がある場合には、あらかじめ公告いたします)
定時株主総会	5月末日までに開催
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (アドレス) https://www.aeon.info/ir/
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っています。

※住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座にて管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

※未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主懇談会のお知らせ

株主の皆さまに日ごろ感じていることを経営幹部が承り、経営に活かすべく、株主懇談会を全国6カ所で開催いたします。当日はグループの経営方針、各地域での取り組み等ご報告のあと、懇談を予定しております。事前登録制となっており、ご参加希望者が多数の場合は抽選をさせていただきます。詳細、応募は下記のサイトにてご確認ください。



昨年の株主懇談会の様子

お申込み締め切りは11月8日

11月19日(火)	札幌	11月26日(火)	神戸
11月21日(木)	仙台	12月2日(月)	横浜
11月25日(月)	四日市	12月5日(木)	福岡

お申込みはこちら



<https://www.aeon.info/ir/stock/communication/>



オーナーズカード会員さまにイオンラウンジのサービスをご用意しております。iAEONアプリ内のイオンラウンジのアイコンをタップしカード情報をご登録いただき、アプリ内で事前にご予約いただくことで、ご利用いただけます。なお、iAEONにご登録いただけるのは、株主ご本人さまのみとなります。

ラウンジサービス
内容のご案内



会員専用空間で休憩
買い物の合間に
特別空間でおくつろぎ



事前予約で、待ち時間無し
2週間先まで
事前予約可能



無料のドリンクサービス
イオンならではの
ドリンクでほっと一息

事前予約制

利用可能回数
月8回/1日1回30分

同伴者
1名さままで

イオンラウンジ (利用方法、店舗一覧) について詳しくはこちら

※利用規約・注意事項をご確認のうえ、イオンラウンジをご利用ください。 <https://www.aeon.com/aeonapp/service/lounge/>



株主さまも  iAEON のご利用で

手のひらに 全てのイオンを。

便利なサービスがたくさんあります。



AEON

アプリひとつで
お支払いまで
もっと便利に

POINT

1



ポイントがたまる。つかえる。
まとまる!

WAON POINTカードも、電子マネーWAONも、
イオンマークのカードも。
「WAON POINT」を一括でおまとめできます。

スマホひとつでかんたん決済!



イオンマークのカードを登録し、
「AEON Pay(イオンペイ)」でお支払い。
カードをもっていないなくても、銀行口座からの
「チャージ払い」でお買い物ができます。

POINT

2

まとめまる・カンタン・おトク・便利
iAEON アイオン 4つのポイント

POINT

3



「お気に入り店舗登録」で、
よりおトクに!

キャンペーンやチラシの情報をゲット。
クーポン利用でおトクにお買い物!
(※一部店舗を除く)

「会員コード」読み取りで、
より便利に!



会員コードをレジで読み取ることで、
クーポン一括利用やポイント利用がスムーズに。
さらに、オーナーズカードも登録・利用できます。

POINT

4



アプリの詳細とダウンロードはこちらから

アイイオン

